

ネポン

ガロウエア (ガス焚)

工事説明書

CG-254S1G

CG-254S2G

CG-554TG2

工事される方へ

工事を始める前にこの「工事説明書」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。
工事完了後、この「工事説明書」は「取扱説明書」と一緒に必ずお客様にお渡しください。

もくじ

1 安全上のご注意	2	5-3 外部警報入力端子との接続.....	13
2 開こん	5	5-4 感震器 (オプション品) との接続	14
2-1 付属品について.....	5	5-5 不完全燃焼警報ユニット (オプション品) の接続	14
2-2 オプション品について.....	5	6 炭酸ガスコントローラ (オプション品) との接続	15
3 据え付け	6	6-1 配線接続方法.....	15
3-1 据え付け場所の選定.....	6	6-2 運転時間帯の設定.....	20
3-2 据え付け方法.....	7	6-3 炭酸ガスセンサーの取り付け.....	22
3-3 吹出口筒 (付属品) の取り付け.....	8	6-4 複数台の運転について.....	22
3-4 吹出口ガイドの組み替え.....	9	7 燃焼空気取り入れ口と給気口の施工	23
3-5 据え付け工事後の確認.....	9	8 エアシャッタの調節	24
4 ガス配管の施工	10	8-1 エアシャッタの開度の調節.....	24
4-1 プロパンガスボンベの設置.....	10	8-2 高地で使用する場合.....	25
4-2 プロパンガス自動切替装置.....	10	9 複数ハウスでの使用方法	26
4-3 施工.....	11	10 工事完了後の確認	27
5 電気配線の施工	12	10-1 試運転前の準備と確認.....	28
5-1 電気配線工事の注意事項.....	12	10-2 試運転.....	29
5-2 ハウスカオンキとの接続 (HK送風機連動運転).....	13		

1

安全上のご注意

- 工事を始める前に必ずこの工事取扱説明書をお読みください。
- 工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この取扱説明書に従ってお客様に使用方法、点検について説明してください。
- この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容ですので必ず守ってください。

危険 (DANGER)

ガス漏れがないか確認する。ガス漏れに気がついたときは



①ガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたりしない。
電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しをしない。
また、周辺で電話を使用しない。



②すぐに使用をやめ、ガスバルブを閉じ、メーターのガス栓も閉じる。

③窓や戸を開けてガスを外へ出す。

④お近くのガス事業者（供給業者）に連絡する。

爆発事故をおこすおそれがあります。



ヒートポンプをご使用の場合、ヒートポンプから冷媒漏れがあるときは機器の使用を中止し、お買い上げの販売店、またはネボン営業所に連絡する

漏れた冷媒が火気に触れると有害ガスが発生するおそれがあります。

警告 (WARNING)



CO₂施用以外に使用しない

予想しない事故が発生するおそれがあります。



火災予防条例や、電気設備に関する技術基準などの、法令の基準を必ず守る
法令違反になる場合があります。



工事や移動は、お買い上げの販売店または工事業者が行う

施工不備があると感電・漏電や火災、事故などのおそれがあります。





危険物の周辺に設置しない
爆発や火災のおそれがあります。





可燃物の周辺に設置しない
可燃物との距離を離す


火災のおそれがあります。


 **ガス配管はガス漏れがないように施工する**
ガス漏れ 厳禁 ガス漏れによる爆発、火災のおそれがあります。


 **ガス配管は金属製配管を使用する**
金属配管 使用 ゴムホース等を使用するとガス漏れのおそれがあります。必ず金属配管を使用してください。


 **外部信号による運転は、燃焼・停止を5分以上継続するように調節する**
燃焼・停止 それぞれ 5分以上 不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。


 **外部信号による運転は、設定濃度を2500ppm以下に設定する**
2500ppm 以下に設定 ハウス内のCO₂濃度が上昇し、人体に傷害を与えたり、作物障害を起こしたりするおそれがあります。


 **炭酸ガスセンサーの位置に注意する**
本体から 離して設置 炭酸ガスセンサーは機器からできるだけ離れた位置で、ハウス内のCO₂濃度を代表する場所に設置する
 不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。CO₂吹出口や機器に近づけると、運転・停止の頻度が増えたり、運転が長時間になったりして、機器や作物に障害を起こすおそれがあります。


 **1つの炭酸ガスコントローラで複数台のグローエアを運転する場合は、1つの機器に1つの接点を接続してください**
炭酸ガス 接点注意 1つの接点でグローエアを複数台運転すると、誤動作し、不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。
 他の外部入力の場合も同様にして、1つの機器に1つの接点を接続してください。


 **エアシャッターを使用地域の電源周波数に合わせる**
エアシャッター 調節 不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。

 **燃焼空気取り入れ口と給気口は閉そくしない場所に設置してください**
燃焼空気 取り入れ口 給気口 閉そく禁止 不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。

 **確実に屋外から燃焼用空気を取り入れる**
燃焼用空気 確保 不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。

 **CO₂吹出口にダクトを接続しない**
ダクトの 接続禁止 不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。

 **CO₂吹出口をふさがない**
CO₂吹出口を ふさがない 不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。

 **据え付け工事が正しくされているか確認する**
施工確認 施工不備があると感電・漏電や火災、事故などのおそれがあります。

⚠ 注意 (CAUTION)



指定以外の部品を使用しない
事故や故障のおそれがあります。

指定部品以外使用禁止



基礎工事は確実に
行う
転倒や火災のおそれがあります。

基礎工事



ガスボンベは適正な本数を使用する
本数が少ないと、ガス不足による異常
燃焼や不着火のおそれがあります。

ガスボンベ
適正本数
使用



配電盤に漏電遮断器を必ず設置する
感電のおそれがあります。

漏電遮断器施工



高地(標高1000m以上)で使用する
場合は、必ずエアシャッターを調節する
高地では空気が薄く、標準のエアシャッ
タ位置では、不完全燃焼のおそれがあ
ります。

エアシャッター
調節



梱包材を付けたまま使用しない
火災のおそれがあります。

梱包材を付けた
まま使用禁止



機器は金属以外で不燃性のしっか
りとした床面に設置する
転倒や火災のおそれがあります。

床面確認



アース(D種接地)工事を確実に必
ず行う

アース工事
をすること

感電や故障のおそれがあります。



電源は専用回路を設ける
動作不良による異常燃焼などの事故の
おそれがあります。

専用回路



廃棄は専門業者が行う
廃棄する場合は、必ず専門業者が行っ
てください。
絶対に投棄などはしないでください。

専門業者

2

開こん

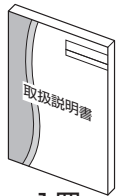
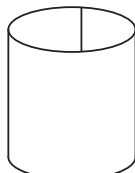

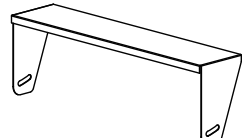


お願い

- 開こん時にグローエアを横倒しにしたり、手荒く扱ったりしないよう注意してください。

2-1 付属品について

■ 次の付属品があることを確認してください。

■ 付属品はなくさないでください。

取扱説明書  1冊	吹出口筒  1個	タッピングねじ  CG-254S1G/CG-254S2G : 3本 CG-554TG2 : なし
吹出口ガイド  CG-254S1G/CG-254S2G : 1個 CG-554TG2 : なし	チョウボルト  CG-254S1G/CG-254S2G : 2本 CG-554TG2 : なし	チョウナット  CG-254S1G/CG-254S2G : 2個 CG-554TG2 : なし

2-2 オプション品について

■ オプション品を用意しています。

品名	型式	備考
炭酸ガスコントローラ	CGC-102S1	AC100V 単相 50/60Hz
	CGC-102	AC200V 単相 50/60Hz
	CGC-600SET	
感震器	CJS-C117T	感震器本体
不完全燃焼警報ユニット	SG-35	不完全燃焼警報器本体 (連絡配線付)

お知らせ ● オプション品については、お買い上げの販売店、工事業者、またはお近くのネポン営業所にお問い合わせください。

3

据え付け



専門業者

工事や移動は、お買い上げの販売店
または工事業者が行う

施工不備があると感電・漏電や火災、
事故などのおそれがあります。



危険物
近接禁止

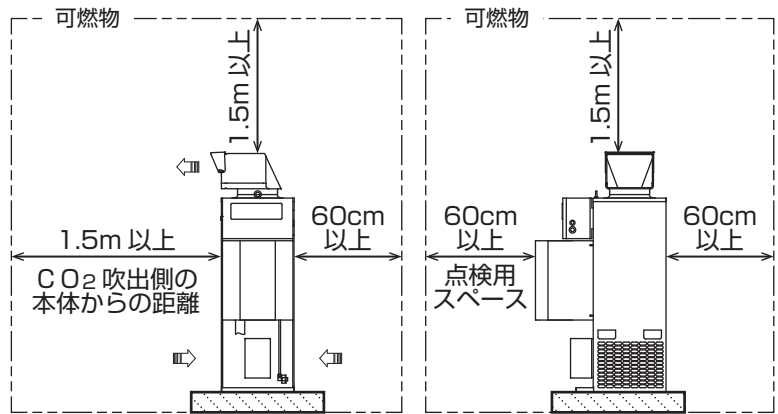
危険物の周辺に設置しない
爆発や火災のおそれがあります。



可燃物近接
禁止

可燃物の周辺に設置
しない
可燃物との距離を離す
火災のおそれがあります。

◎標準据え付け例
機器前面は保守点検
スペースとして、
60cm以上あけて
ください。



基礎工事

基礎工事は確実に
転倒や火災のおそれがあります。



床面確認

機器は金属以外で不燃性のしっか
りとした床面に設置する
転倒や火災のおそれがあります。

3-1 据え付け場所の選定

■次の注意を守り、電気工事などの付帯工事のできる場所を選定してください。

■付近に燃えやすいものがないか確認してから据え付けてください。



法令厳守

火災予防条例、電気設備に関する技術基準、電気工事は、それぞれ指定の工事業者に
依頼するなど法令の基準を必ず守る

法令違反になる場合や施工不備により、感電、漏電、動作不良、または火災のおそれがあります。

以下の場所には据え付けない

◎水平でない場所、不安定な場所

◎屋外（ハウス外）

◎可燃性ガスの発生する場所、またはたまる場所

◎不安定な物を乗せた棚などの下

◎燃焼に必要な空気を取り入れる空気取入れ
口のない場所、または換気が行えない場所

◎出入口などの付近で避難の支障となる場所

◎設置後の保守管理が行えない場所

◎電気工事などの付帯工事ができない場所

◎火災予防条例上の可燃物との離隔距離がと
れない場所

◎常時結露するような場所

◎40℃を超える高温の場所

◎換気扇などの影響で、機器の給排気に支障
をきたす場所

◎騒音公害になる場所

ブロック塀などが近くにある場合は、音が反射
して大きくなる場合がありますので、隣家から
なるべく離して設置してください。隣家と接近
して機器を設置する場合は、遮音工事をしてく
ださい。

◎法律に従ってガスボンベを安全に設置でき
ない場所

3-2 据え付け方法



梱包材を付けたまま使用しない
火災のおそれがあります。

梱包材を付けたまま使用禁止

■ 機器は金属以外で不燃性のしっかりとした床面*に設置してください。

※コンクリート・けい酸カルシウム（ノンアスベスト）など

■ 機器はアンカーボルトでしっかりと固定してください。

■ 以下の手順に従って据え付けてください。

① 梱包材を取り外す

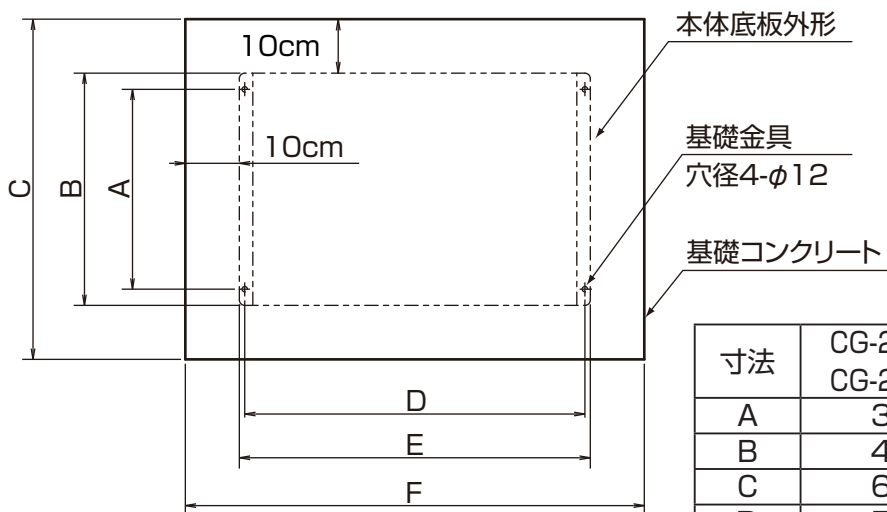
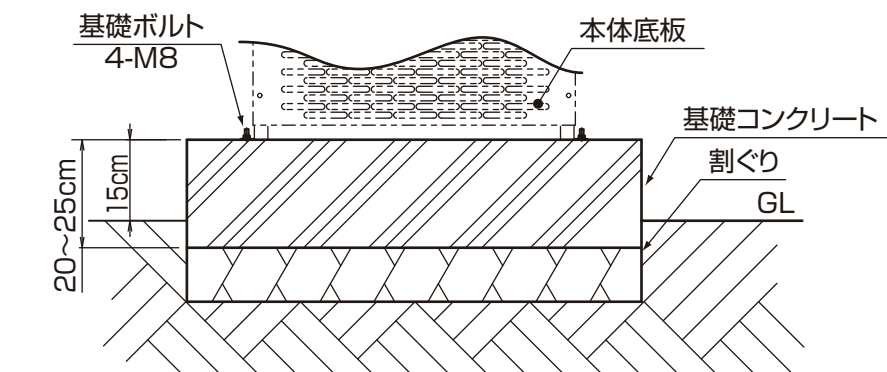
梱包材を必ず取り外してください。

② 金属以外の不燃材の床面などに据え付ける

ブロックやコンクリートなどの不燃材の土台に据え付けてください。

③ 転倒しないように固定する

下図を参照し、しっかりと固定してください。



寸法	CG-254S1G CG-254S2G	CG-554TG2
A	37cm	37cm
B	41cm	43cm
C	61cm	63cm
D	54cm	63cm
E	56cm	65cm
F	76cm	85cm

3-3 吹出口筒(付属品)の取り付け

■吹出口筒を取り付けて、CO₂吹出口をかさ上げすることができます。

① 付属品を用意する



CG-254S1G / 254S2G

② 吹出口エルボを外す

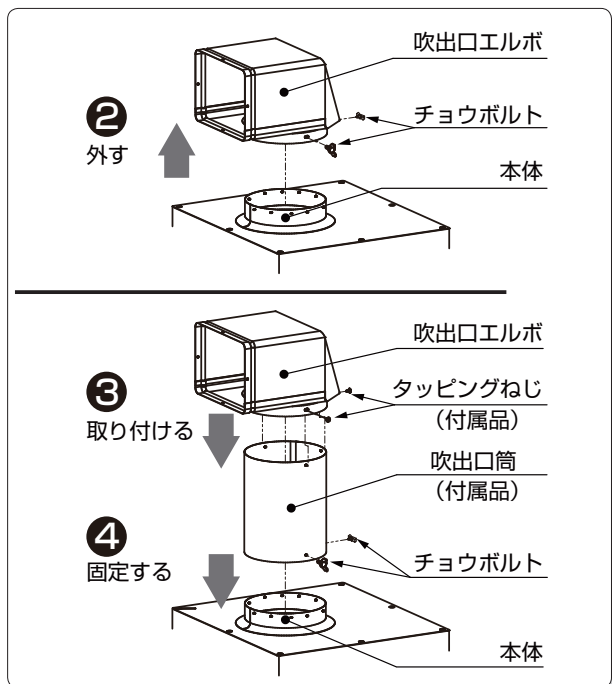
エルボを固定している3カ所のチョウボルトを外し、本体から吹出口エルボを外します。

③ 吹出口エルボに吹出口筒を取り付ける

吹出口筒と②で外した吹出口エルボを3カ所の穴に合わせ、付属品のタッピングねじで取り付けます。

④ 本体と吹出口エルボを固定する

- ① ③で組み立てた吹出口エルボと吹出口筒を本体に取り付けます。
- ② 吹出口を希望の方向に向け、3カ所のねじ穴を合わせます。
- ③ 合わせた3カ所のねじ穴に、②で外したチョウボルトで固定します。



CG-554TG2

② 本体から吹出口エルボとエルボ取付筒を外す

◎吹出口エルボとエルボ取付筒は、ねじなどで本体に固定されていません。

③ 吹出口エルボからエルボ取付筒を外す

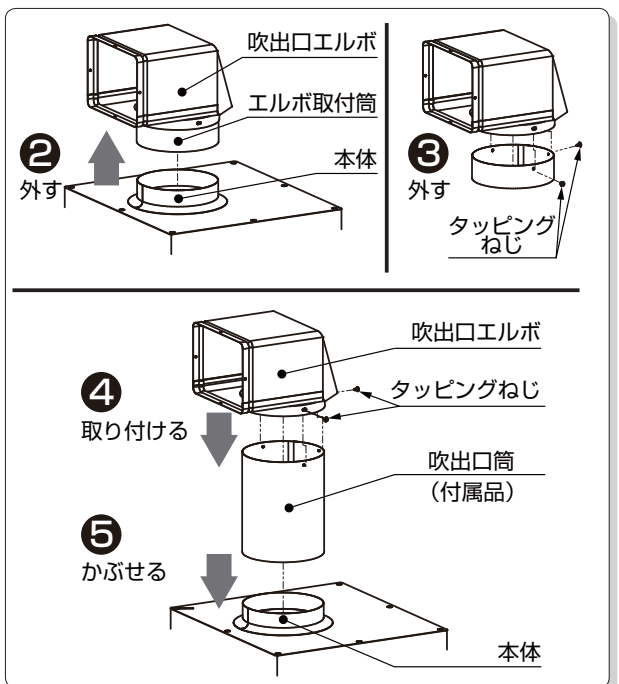
吹出口エルボとエルボ取付筒を固定しているタッピングねじを外します。

④ 吹出口エルボに吹出口筒を取り付ける

- ① 吹出口筒に③で外した吹出口エルボを乗せ、3カ所のねじ穴を合わせます。
- ② 合わせた3カ所のねじ穴に、③で外したタッピングねじを取り付け、固定します。

⑤ 本体に吹出口エルボをかぶせる

- ① ④で組み立てた吹出口エルボの吹出口筒を、かぶせます。
- ② 希望の吹出口の方向に向けます。



3-4 吹出口ガイドの組み替え



CO₂吹出口をふさがない

不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。

CO₂吹出口を
ふさがない

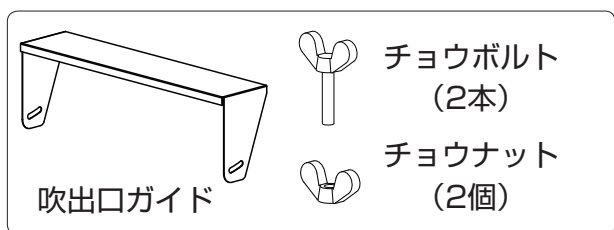
■吹出口ガイドを組み替えて、気流の向きを変えることができます。

■吹出口ガイドは、CG-254S1G・CG-254S2Gは付属品に入っています。
CG-554TG2は吹出口に取り付けてあります。

CG-254S1G / 254S2G

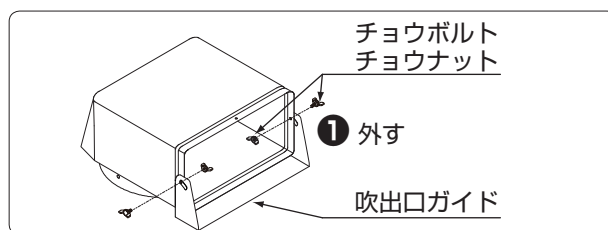
CG-554TG2

① 付属品を用意する



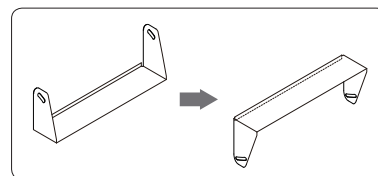
① 吹出口ガイドを外す

吹出口ガイドを固定しているチョウボルト(2本)、チョウナット(2個)を緩め、吹出口ガイドを外します。



② 吹出口ガイドの向きを確認する

◎気流を下に向けるときは、吹出口ガイドを上に取り付けます。

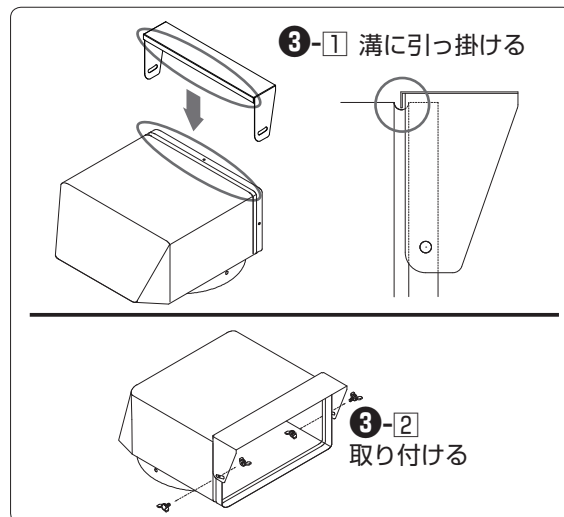


③ 吹出口ガイドを取り付ける

①吹出口ガイドを吹出口エルボの溝に引っ掛けます。

②チョウボルトとチョウナットで固定します。
◎CG-254S1G・CG-254S2Gは付属品を使用してください。

◎CG-554TG2は ① で外したものを使用してください。



3-5 据え付け工事後の確認

お願い

●据え付け工事が完了したら、➡27 ページ「10.工事完了後の確認」の表に従って点検してください。

4

ガス配管の施工



ガス漏れ
厳禁

ガス配管はガス漏れがないように
施工する

ガス漏れによる爆発、火災のおそれ
があります。



金属配管
使用

ガス配管は金属製配管を使用する
ゴムホース等を使用するとガス漏れ
のおそれがあります。

必ず金属配管を使用してください。



ガスポンペ
適正本数
使用

ガスポンペは適正本数を使用する

本数が少ないと、ガス不足による異常燃焼や不着火のおそれがあります。

4-1 プロパンガスポンペの設置

■プロパンガスは、ポンペの容量
および外気温によりポンペ内の
蒸気圧力が変化します。

■設置する地域の外気温に応じて
表のガスポンペより多く設置
してください。

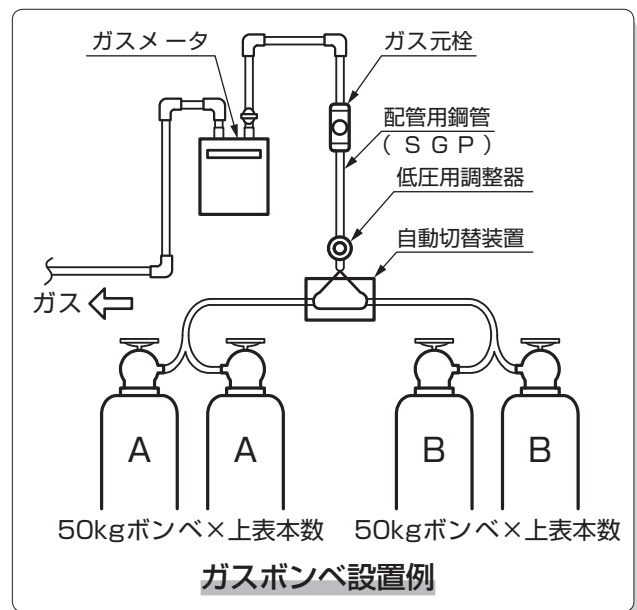
プロパンガスポンペの最低必要本数

型式		CG-254S1G CG-254S2G	CG-554TG2
燃料消費量		1.12kg/h	2.30kg/h
気温	5℃	2本	4本
	0℃	4本	6本
	-5℃	4本	8本

4-2 プロパンガス自動切替装置

■自動切替装置とは、設置例のようにAボ
ンペの蒸気圧力が低下した場合に、Bボ
ンペに自動的に切り替わり、
ガスを供給する装置のことです。

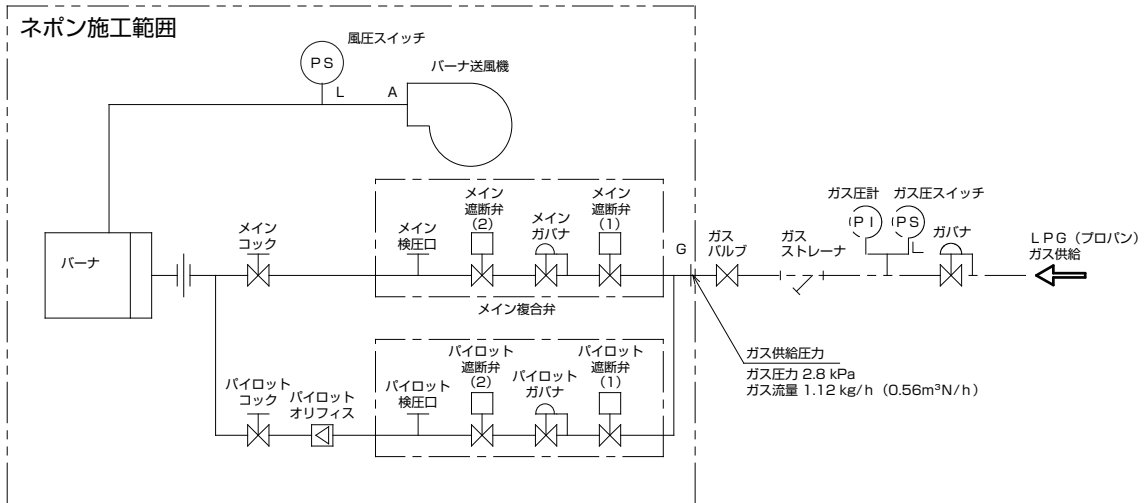
■Bポンペに切り替わっている間に
Aポンペを交換することにより、
「不着火」や「失火」がなくなります。



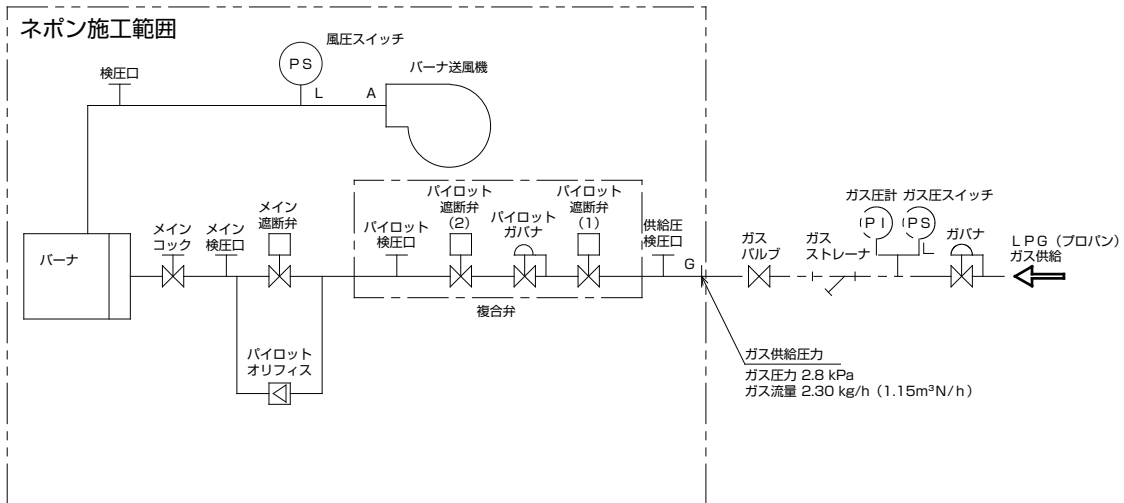
4-3 施工

- ガス配管は金属配管で図のように施工し、グロウエアには3/8Bで接続してください。
- 機器本体の近くまでガス配管を施工したら、必ずガスバルブを付けてください。

CG-254S1G / 254S2G



CG-554TG2



5

電気配線の施工



アース（D種接地）工事を確実に必ず行う

アース工事をすること 感電や故障のおそれがあります。



配電盤に漏電遮断器を必ず設置する感電のおそれがあります。

漏電遮断器施工



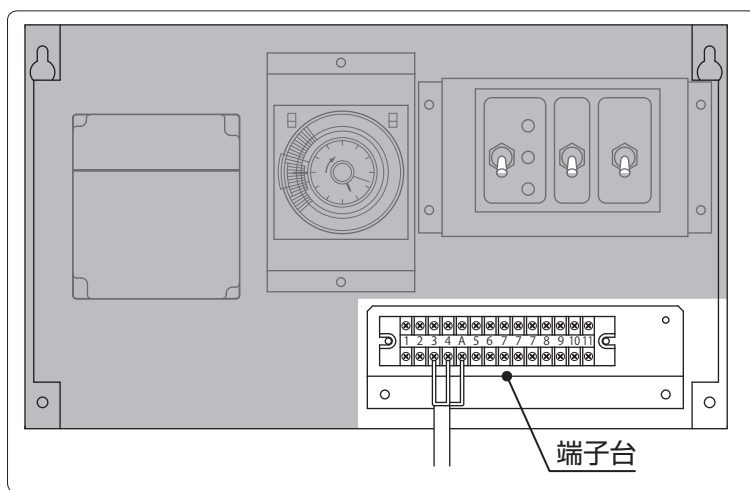
電源は専用回路を設ける

動作不良による異常燃焼などの事故のおそれがあります。

専用回路

■電気工事は電力会社の指定工事業者が行い、電気設備に関する技術など法令を必ず守ってください。

■制御盤の扉を開け、右図の端子台を使用します。



5-1 電気配線工事の注意事項

■以下の注意点を守って、配線を接続してください。

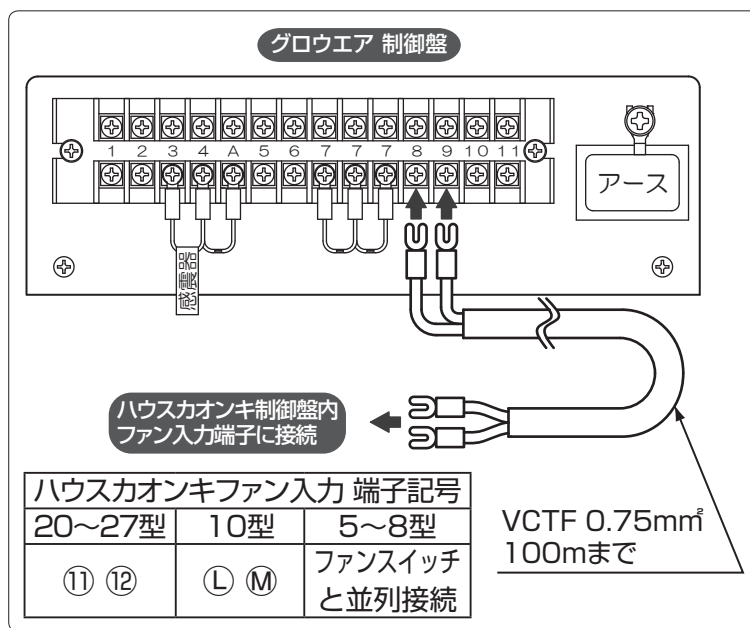
- 漏電遮断器のついた機器専用の配電盤を設けてください。
- 電源工事は電気設備の技術基準に従い電気工事士の資格を持った方が行ってください。
- 電源は下表を参照し、容量に合わせて施工してください。
- 電源配線の太さは下表を参照し、指定太さ以上の電線を使用してください。
- CG-254S1Gは、電源コンセントを設けてください。
CG-254S2G、CG-554TG2の電源配線の接続は →別冊の取扱説明書 13ページ「3-6 電源ボックス」を参照してください。
- 感電事故を防止するため、アース工事（D種接地工事、接地抵抗100Ω以下）をしてください。

型式	CG-254S1G	CG-254S2G	CG-554T2G
電源電圧	AC 100V 単相	AC 200V 単相	AC 200V 三相
ブレーカ容量	フレーム 30A / 15A		
配線長さ	80m以下		
配線太さ	VCTF 2.0mm ²		

5-2 ハウスカオンキとの接続 (HK送風機連動運転)

■グロウエアとハウスカオンキの送風機を連動運転することで、CO₂の濃度ムラを軽減します。

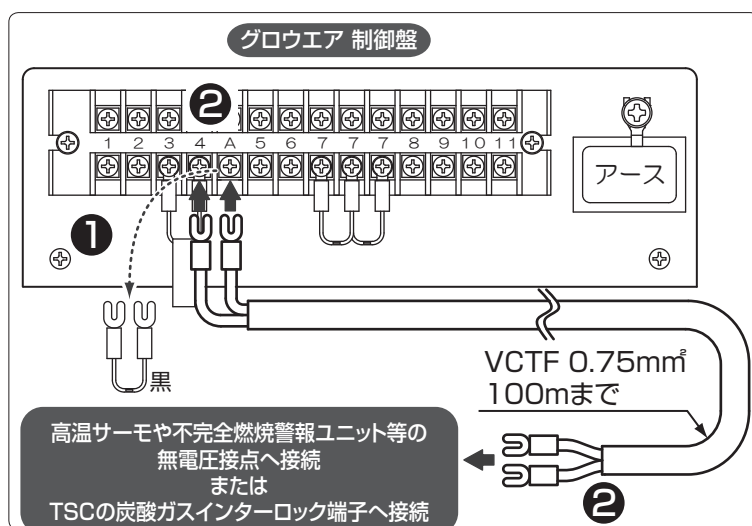
- 1 グロウエアの制御盤内端子⑧⑨と、ハウスカオンキ制御盤内ファン入力端子を接続する
ハウスカオンキ制御盤内の電気結線図銘板で、ファン入力端子を確認してから施工してください。



5-3 外部警報入力端子との接続

- 外部インターロック端子です。
- 高温サーモやCO警報器等の警報信号を接続すると、警報時にグロウエアの運転を停止し、安全性が向上します。
- 換気窓制御盤 (TSC) の炭酸ガスインターロックと接続することで、省エネ運転もできます。

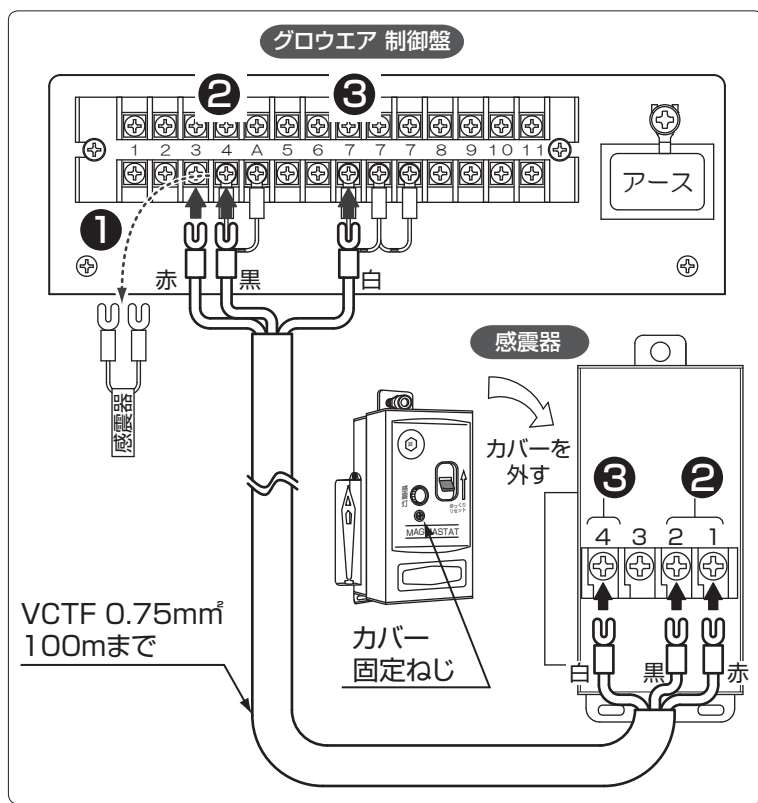
- 1 グロウエアの制御盤内端子④(A)の短絡線を外す
- 2 グロウエアの制御盤内端子④(A)と、外部機器の無電圧接点(b接点)を接続する



5-4 感震器（オプション品）との接続

■地震や強い衝撃を受けたとき、グローエアの運転を停止します。安全のため、ご使用ください。

- ① グローエアの制御盤内端子③④の短絡線を外す
- ② グローエアの制御盤内端子③④と、感震器の端子①②を接続する
感震器の端子台は、カバー固定ねじを外してカバーを外すと、感震器の本体内部にあります。
- ③ グローエアの制御盤内端子⑦と感震器の端子④を接続する

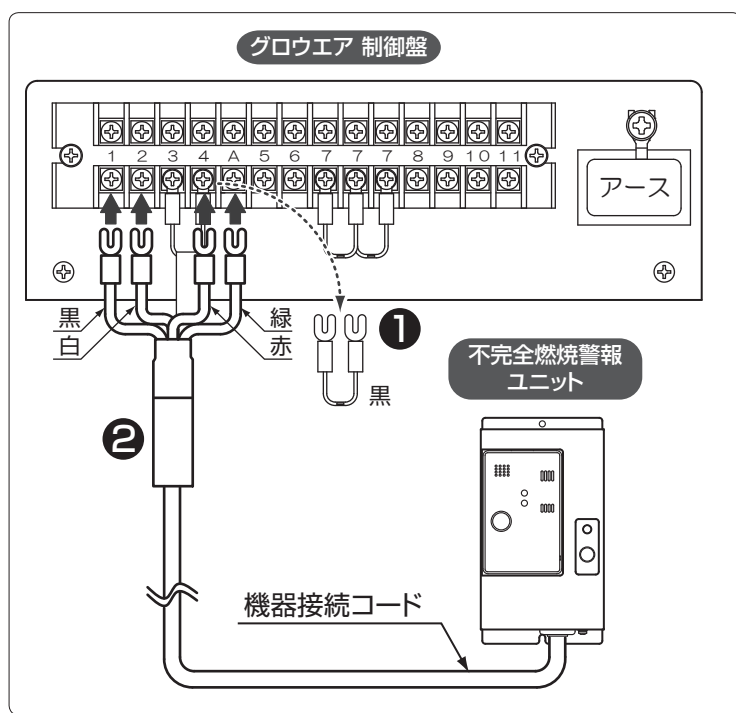


5-5 不完全燃焼警報ユニット（オプション品）の接続

■不完全燃焼警報ユニットは、ハウス内のCOが規定の濃度に達したとき、グローエアの運転を停止し、警報ランプと警報音でお知らせします。安全のため、ご使用ください。

- ① グローエアの制御盤内端子④(A)の短絡線を外す
- ② グローエアの制御盤内端子と、不完全燃焼警報ユニットの機器接続コードを下表を参照して接続する

配線の色	黒	白	赤	緑
グローエア制御盤の端子台番号	1	2	4	A



6

炭酸ガスコントローラ（オプション品）との接続

- グロウエアは、炭酸ガスコントローラを使用することにより、ハウス内のCO₂濃度を調節できます。
- 炭酸ガスコントローラはオプション品です。→5 ページ「2-2 オプション品について」参照

! 外部信号による運転は、燃焼・停止を5分以上継続するように調節する

燃焼・停止それぞれ5分以上 不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。

! 外部信号による運転は、設定濃度を2500ppm以下に設定する

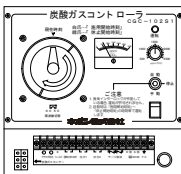
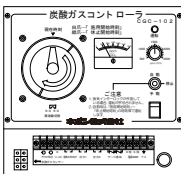
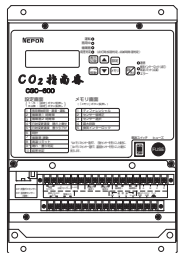
2500ppm以下に設定 ハウス内のCO₂濃度が上昇し、人体に傷害を与えたり、作物障害を起こしたりするおそれがあります。

お知らせ

- 炭酸ガスコントローラCGC-102・102S1と、複合環境制御盤MC-4024および他社製外部コントローラを使用する場合、停止時間が5分未満になるとグロウエアは安全装置が働き、停止します。

6-1 配線接続方法

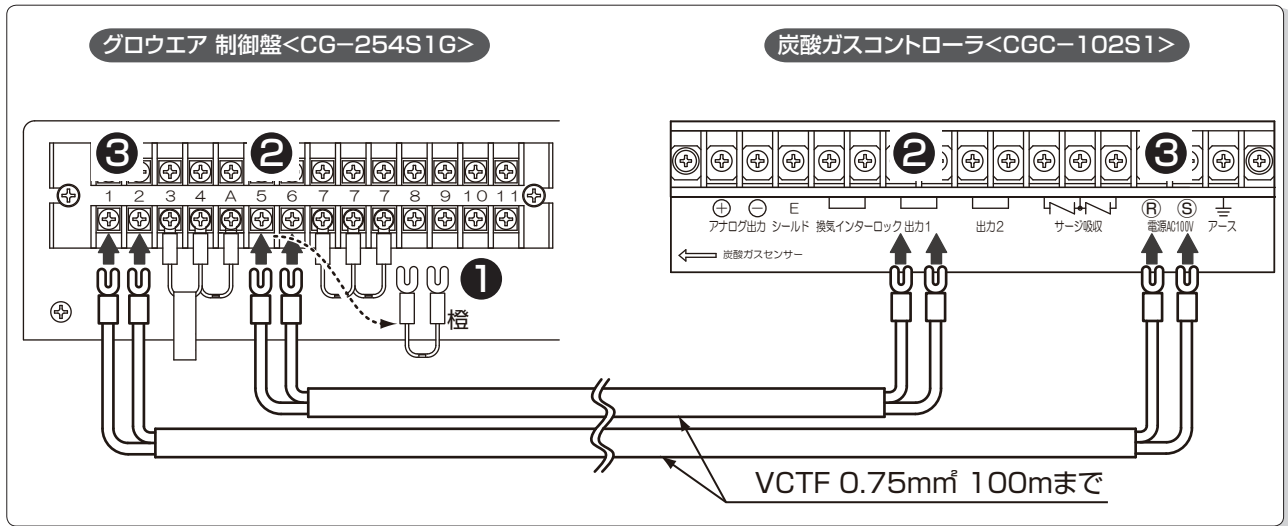
- グロウエアの型式により、接続する炭酸ガスコントローラの型式も異なります。
- CGC-600SETは、ハウス環境を遠隔地でモニタリングできるアグリネット（別売）対応機です。
- 下記の対応表を参照し、配線を接続してください。
（●のついたグロウエアと炭酸ガスコントローラが接続可能です）

グロウエア型式	接続できる炭酸ガスコントローラ		
	CGC-102S1	CGC-102	CGC-600SET
	 AC100V単相	 AC200V単相	 AC200V単相
CG-254S1G	● →16 ページ		
CG-254S2G		● →17 ページ	● →18 ページ
CG-554TG2		● →19 ページ	● →19 ページ

CG-254S1Gの接続

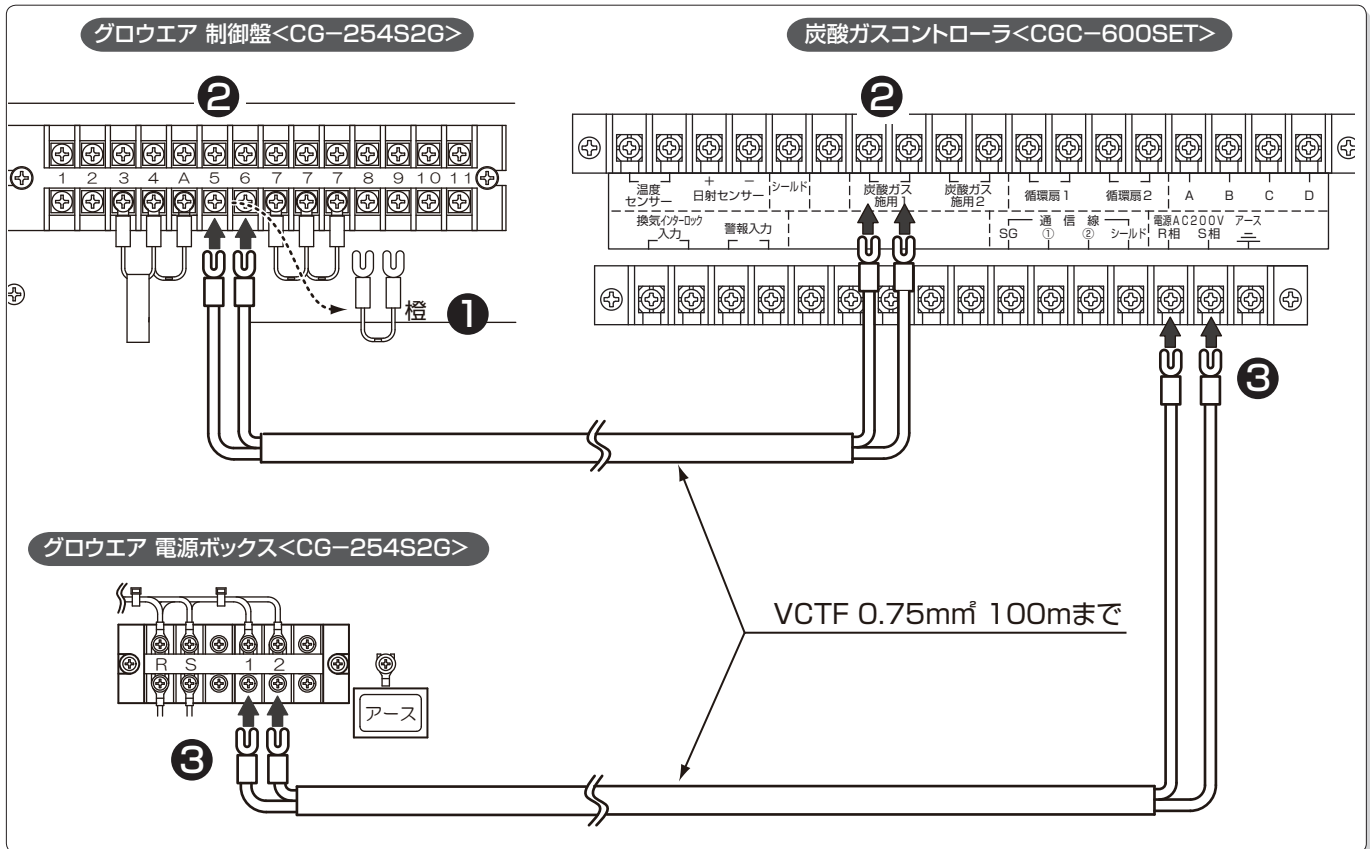
炭酸ガスコントローラCGC-102S1との接続

- ① グロウエアの制御盤内端子⑤⑥の短絡線（橙）を外す
- ② グロウエアの制御盤内端子⑤⑥と、炭酸ガスコントローラの実出力1端子を接続する
- ③ グロウエアの制御盤内端子①②と、炭酸ガスコントローラの電源AC100V[Ⓡ]⑤を接続する



炭酸ガスコントローラCGC-600SETとの接続

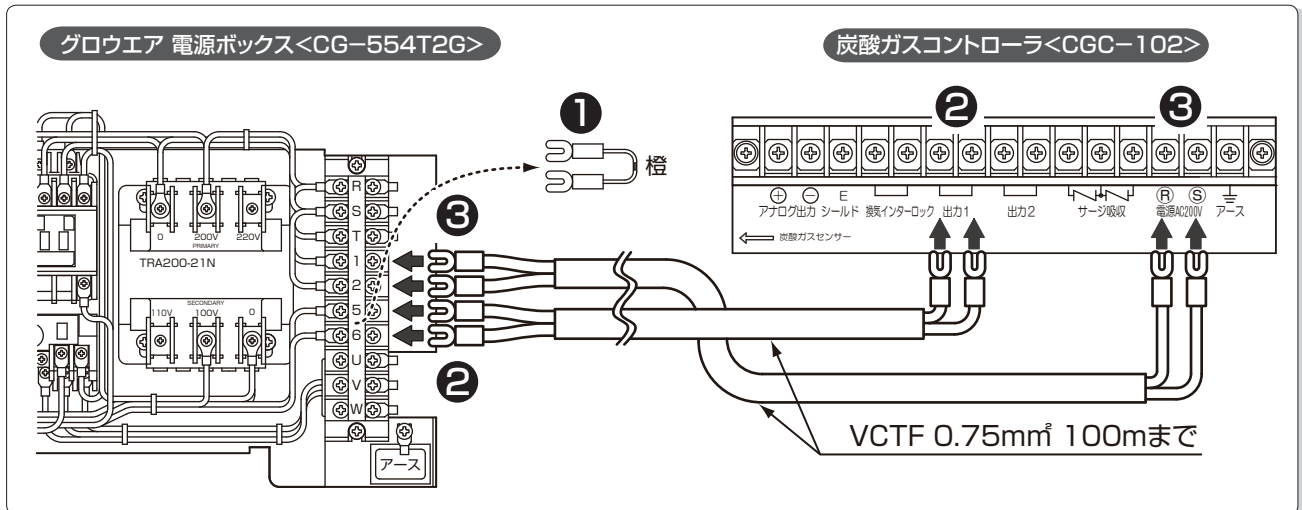
- ① グロウエアの制御盤内端子⑤⑥の短絡線（橙）を外す
- ② グロウエアの制御盤内端子⑤⑥と、炭酸ガスコントローラの炭酸ガス施用1を接続する
- ③ グロウエアの電源ボックス内端子①②と、炭酸ガスコントローラの電源200V[Ⓡ]⑤を接続する



CG-554TG2の接続

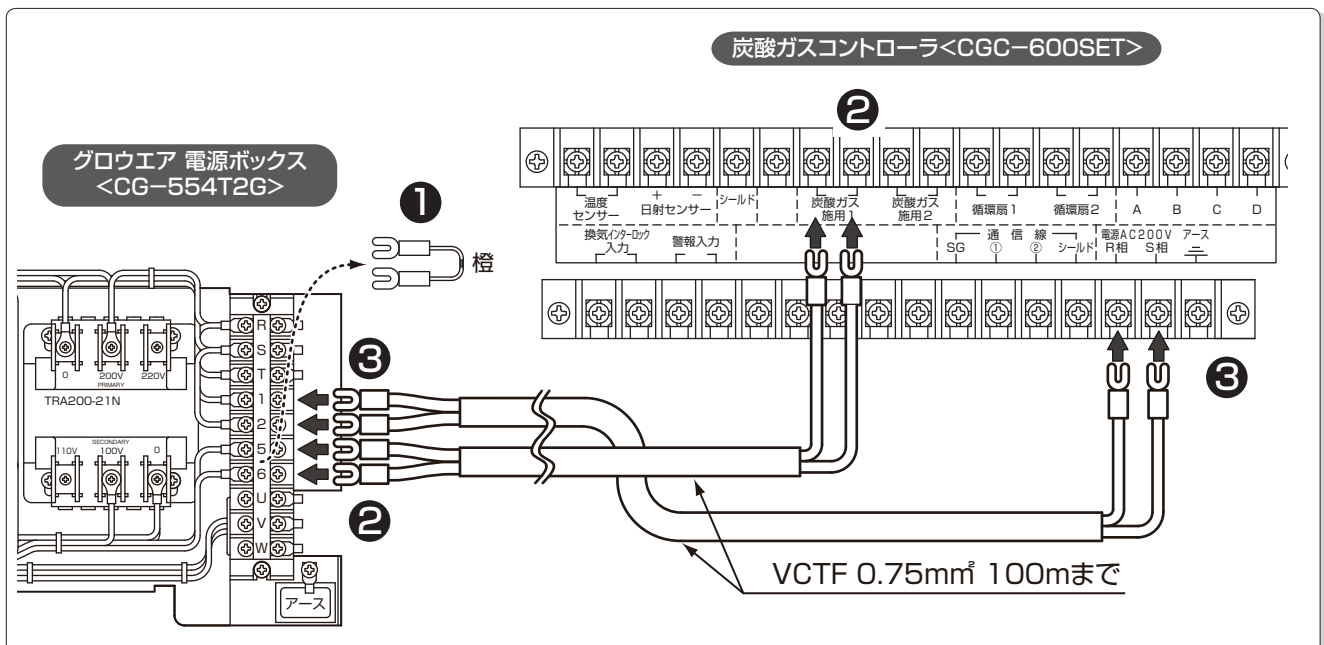
炭酸ガスコントローラCGC-102との接続

- ① グロウエアの電源ボックス内端子⑤⑥の短絡線（橙）を外す
- ② グロウエアの電源ボックス内端子⑤⑥と、炭酸ガスコントローラの出カ1端子を接続する
- ③ グロウエアの電源ボックス内端子①②と、炭酸ガスコントローラの電源200V(R)(S)を接続する



炭酸ガスコントローラCGC-600SETとの接続

- ① グロウエアの電源ボックス内端子⑤⑥の短絡線（橙）を外す
- ② グロウエアの電源ボックス内端子⑤⑥と、炭酸ガスコントローラの炭酸ガス施用1端子を接続する
- ③ グロウエアの電源ボックス内端子①②と、炭酸ガスコントローラの電源200V(R)(S)を接続する



6-2 運転時間帯の設定

■運転時間帯の設定は、接続した炭酸ガスコントローラによって異なります。
以下のページを参照し、運転時間帯を設定してください。

○CGC-102S1またはCGC-102を接続した場合

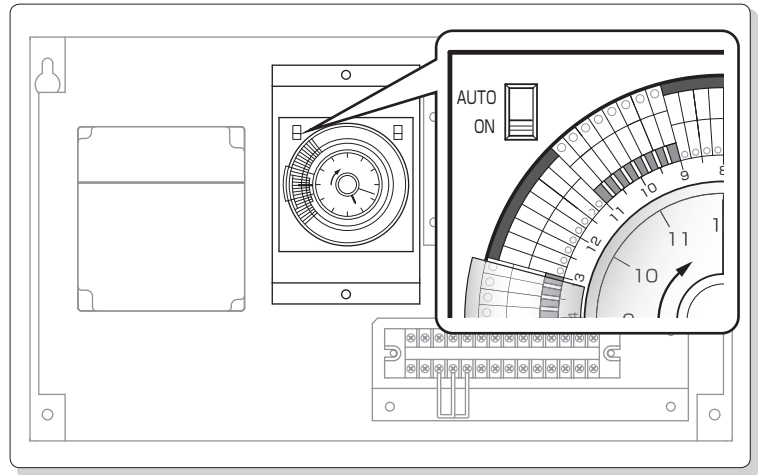
→20 ページ

○CGC-600SETを接続した場合

→21 ページ

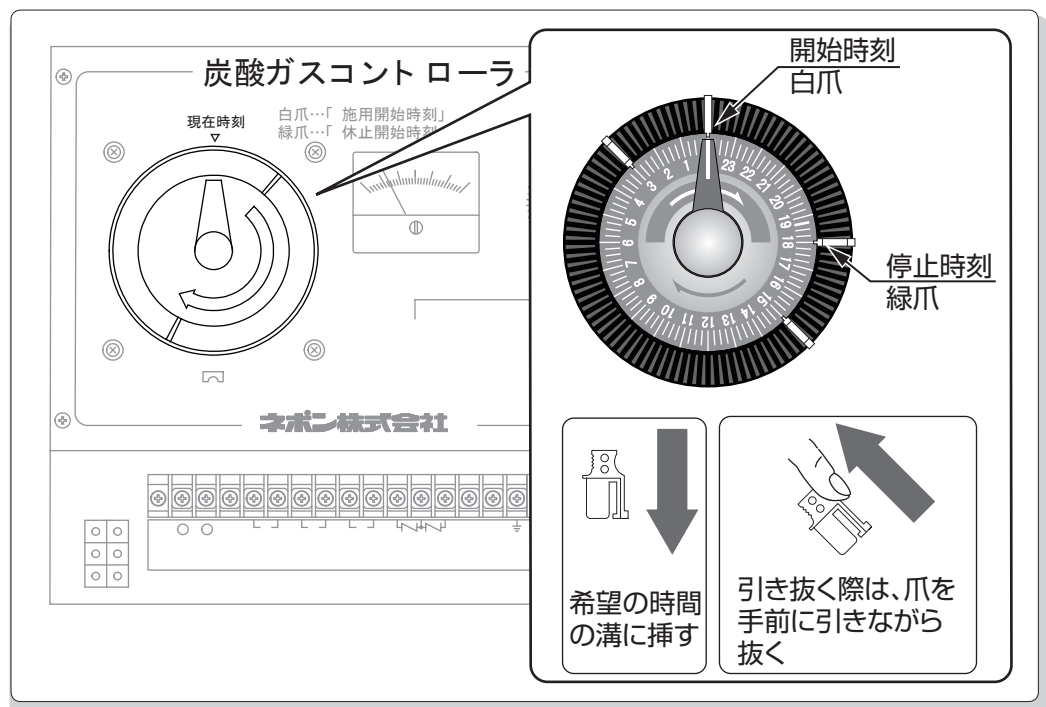
CG-102S1またはCGC-102を接続した場合

- ① グロウエア側
24時間タイマーのマニュアル
スイッチをONにする
※出荷時はAUTOになって
います。



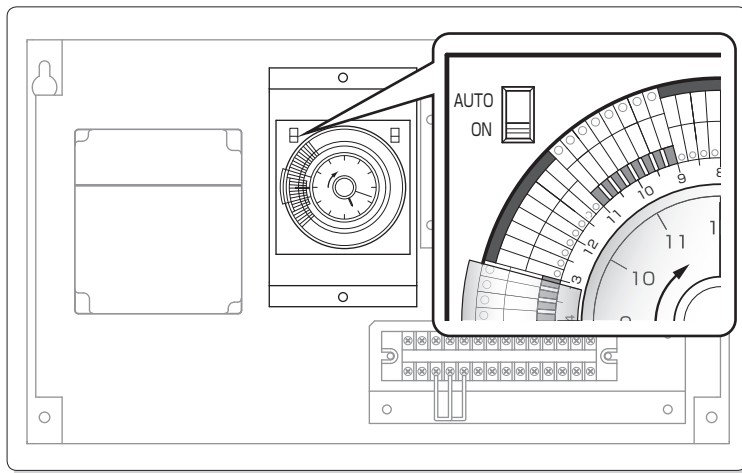
- ② 炭酸ガスコントローラ側
24時間タイマーで運転時間帯を設定する

- 希望するCO₂施用開始時刻に白爪を
停止時刻に緑爪を差し込みます。
- 炭酸ガスコントローラで設定した運転時間帯と設定濃度で管理運転します。
- 詳しい設定方法は炭酸ガスコントローラの取扱説明書を参照してください。

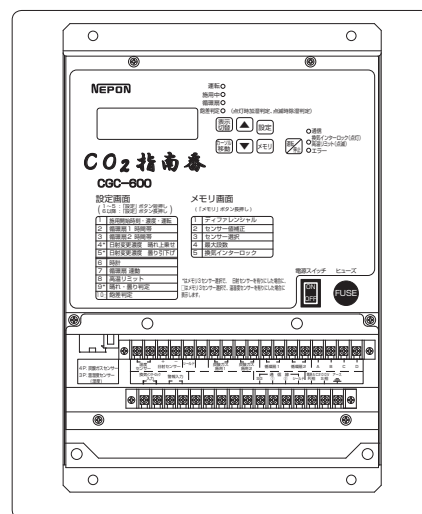


CGC-600SETを接続した場合

- ① グロウエア側
24時間タイマーのマニュアル
スイッチをONにする
※出荷時はAUTOになって
います。



- ② 炭酸ガスコントローラ側
設定モードで運転時間帯を設定する
- ◎ 炭酸ガスコントローラで設定した運転時間帯と設定濃度
で管理運転します。
 - ◎ 詳しい設定方法は、炭酸ガスコントローラ取扱説明書
を参照してください。



6-3 炭酸ガスセンサーの取り付け



炭酸ガスセンサーの位置に注意する

炭酸ガスセンサーは機器からできるだけ離れた位置で、ハウス内のCO₂濃度を代表する場所に設置する

本体から
離して設置

不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。

CO₂吹出口や機器に近づけると、運転・停止の頻度が増えたり、運転が長時間になったりして機器や作物に障害を起こすおそれがあります。

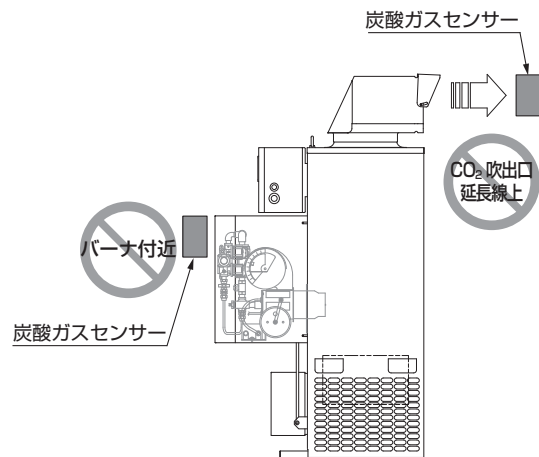
■炭酸ガスセンサーは炭酸ガスコントローラに付属しています。

炭酸ガスコントローラ型式	炭酸ガスセンサー
CGC-102S1 CGC-102 CGC-600SET	炭酸ガスコントローラに付属

お願い

●以下の位置には設置しないでください。

- ・CO₂吹出口方向の延長上
⇒グローエアの運転・停止の頻度が増えます。
- ・グローエアのバーナ側付近
⇒グローエアの運転が長時間となります。



6-4 複数台の運転について



1つの炭酸ガスコントローラで複数台のグローエアを運転する場合は、1つの機器に1つの接点を接続してください

炭酸ガス
接点注意

1つの接点でグローエアを複数台運転すると、誤動作し、不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。

他の外部入力の場合も同様に、1つの機器に1つの接点を接続してください。



燃焼空気取り入れ口と給気口は閉そくしない場所に設置してください

燃焼空気
取り入れ口
給気口
閉そく禁止

不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。



確実に屋外から燃焼用空気を取り入れる

燃焼用空気
確保

不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。

■機器を安全に正しくお使いいただくために、燃焼空気取り入れ口と給気口の施工は、各市町村の火災予防条例に従って行ってください。

■下記の手順で施工してください。

① 開口部を設ける

■燃焼空気取り入れ口

型式	燃焼空気取り入れ口面積 cm^2 (相当角穴□cm)
CG-254S1G CG-254S2G	269 (17□)
CG-554TG2	550 (24□)

※東京都火災予防条例施行規則より、スチールガラリ形状で算出

■給気口

型式	給気口 サイズ	燃焼空気取り入れ口面積 cm^2 (相当角穴□cm)
CG-254S1G CG-254S2G	$\phi 50$	19 (5□)
CG-554TG2	$\phi 75$	43 (7□)

② 機器の近くに設ける

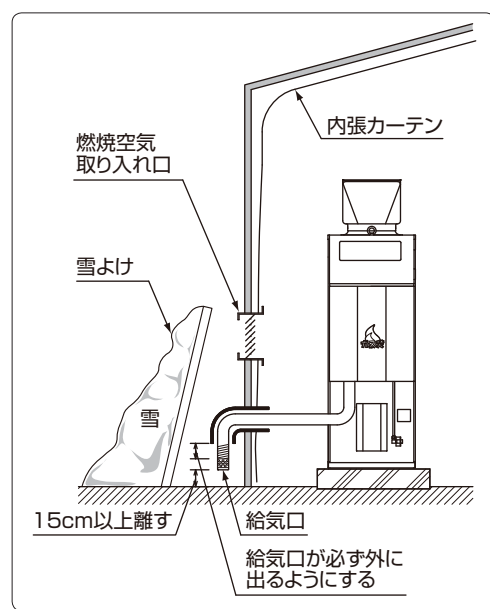
給気口の最大長さは2.5mです。

③ 積雪などでふさがないようにする

- ◎降雪地帯では、雪よけを設けてください。
- ◎給気口をふさがないように、周辺の枯葉や草などは取り除いてください。

④ 給気口を設置する

地面から15cm以上離して設置してください。



8

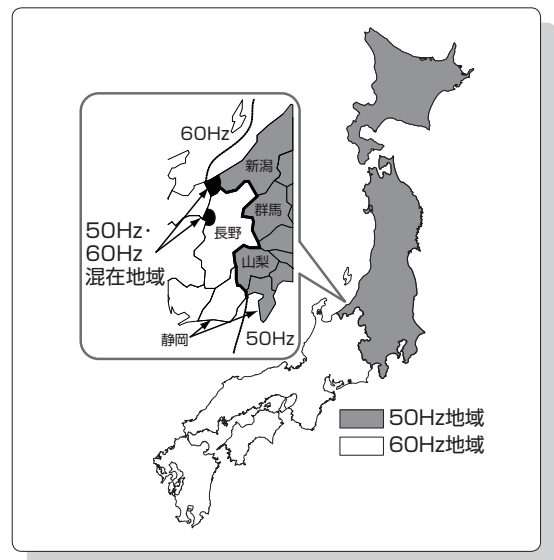
エアシャッタの調節



エアシャッタを地域の電源周波数に合わせる
不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。

エアシャッタ
調節

- 図を参照し、ご使用になる地域の電源周波数を確認してください。
境界周辺地域の方や混在地域の方はどちらの電源周波数が使用されているか、よく確認してください。
ご不明な場合は、お近くの電力会社か電気店にご相談ください。



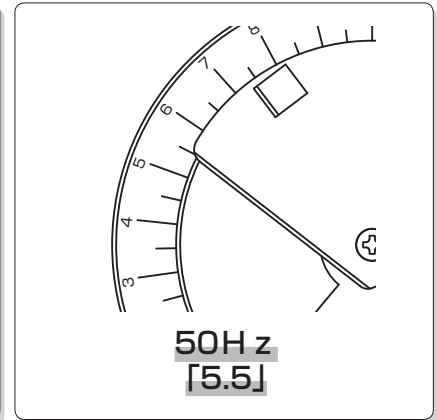
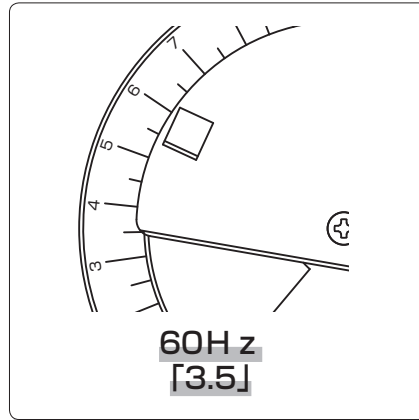
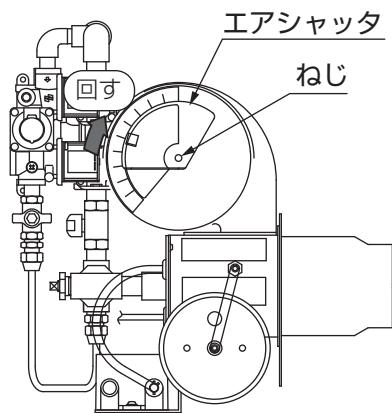
8-1 エアシャッタの開度の調節

- この製品は、エアシャッタを電源周波数60Hz地域用に調節しています。
- エアシャッタの開度はグローエアの型式・電源周波数により異なります。
型式・電源周波数を確認して開度を調節してください。

- ① エアシャッタのねじを緩める
- ② エアシャッタの開度を合わせ、ねじを締める
つまみを開度設定位置に合わせ、ねじを締めます。
次ページの絵図に従い、電源周波数に合わせてエアシャッタ開度を調節してください。

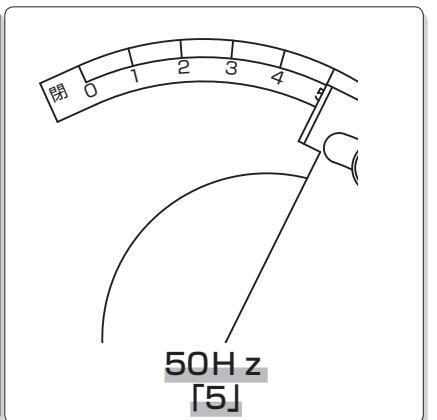
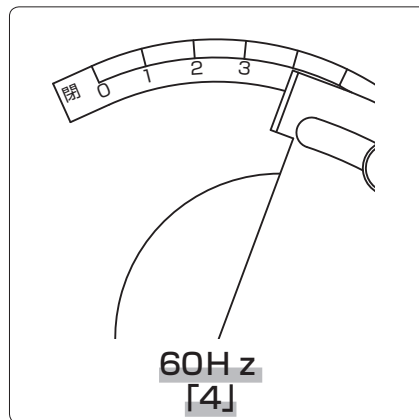
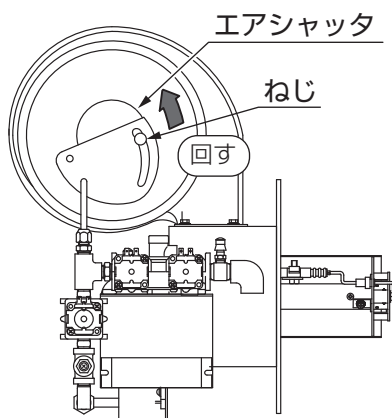
CG-254S1G / 254S2G

60Hzの場合 「3.5」
50Hzの場合 「5.5」 に合わせてください。



CG-554TG2

60Hzの場合 「4」
50Hzの場合 「5」 に合わせてください。



8-2 高地で使用する場合



高地(標高1000m以上)で使用する場合は、必ずエアシャッタを調節する
高地では空気が薄く、標準のエアシャッタ位置では、不完全燃焼のおそれがあります。

エアシャッタ
調節

■高地(標高1000m以上)で使用する場合は、特に注意して、燃焼状態が適正になるようにエアシャッタを調節してください。

9

複数ハウスでの使用方法



CO₂吹出口にダクトを接続しない

不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。

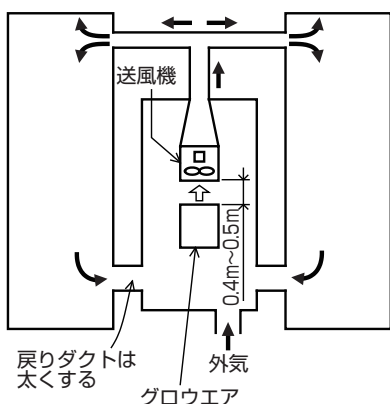
ダクトの
接続禁止

■CO₂を複数のハウスへ分けたい場合、ダクトを直接CO₂吹出口へ接続しないでください。

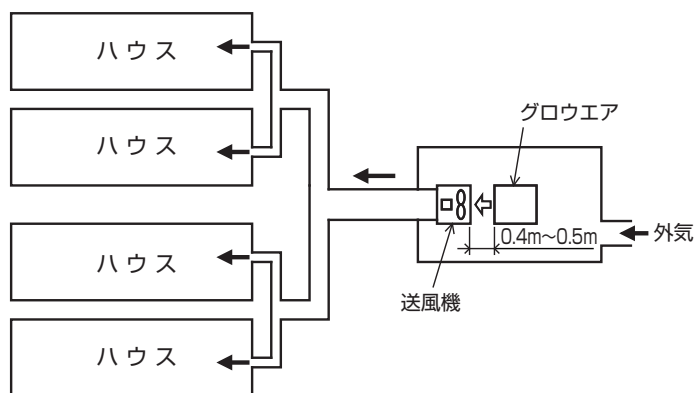
直接ダクトを接続すると、不完全燃焼や異常燃焼などの事故のおそれがあります。

■ダクトを使用する場合は、以下のことに注意してください。

- 必ず別のダクト用送風機を用意して、グローエアと連動運転してください。
- ダクト用送風機の風量は、グローエアの風量の2倍以上のものを使用してください。
- 戻り側のダクトは、行き側のダクトより太さが2倍以上のものを使用してください。
- 機械室は、十分に外気が取り入れられる構造にしてください。
- 施工については、図（例1・例2）を参考にしてください。



例1



例2



据え付け工事が正しくされているか確認する

施工不備があると感電・漏電や火災、事故などのおそれがあります。

施工確認

■下記のチェックシートに従って点検をしてください。

点 検 項 目		参照ページ
■据え付け場所の選定		
<input type="checkbox"/>	機器本体は屋内（ハウス内）に設置している。	6 ページ
<input type="checkbox"/>	床面は水平になっている。	
<input type="checkbox"/>	機器バーナ側前方に60cm以上の点検スペースを空けている。	
■据え付け方法		
<input type="checkbox"/>	ブロックやコンクリートなどの不燃材の土台に据え付けている。	7 ページ
<input type="checkbox"/>	転倒しないように固定している。	
■ガス配管の施工		
<input type="checkbox"/>	適正な本数のガスボンベを設置している	10 ページ～
<input type="checkbox"/>	金属配管で施工している	
■電気配線の施工		
<input type="checkbox"/>	電源はCG-254S1GはAC100V単相 CG-254S2GはAC200V単相 CG-554TG2はAC200V三相で電源容量は十分である。	12 ページ～
<input type="checkbox"/>	電気配線の太さ、長さ、ブレーカ容量は基準に適合している。	
<input type="checkbox"/>	アース工事を確実にやっている。	
■24時間タイマーの設定		
<input type="checkbox"/>	マニュアルスイッチが「AUTO」になっている。	別冊の取扱説明書 20 ページ～
<input type="checkbox"/>	3時間以上連続燃焼しない設定になっている。	
■炭酸ガスコントローラで運転する場合 ※炭酸ガスコントローラをご使用の場合		
<input type="checkbox"/>	炭酸ガスセンサーは、ハウス内のCO ₂ 濃度を代表する位置に取り付けている。	22 ページ
<input type="checkbox"/>	CO ₂ 濃度の上限2500ppm以下に設定している。	15 ページ～
■燃焼空気取り入れ口と給気口の施工		
<input type="checkbox"/>	必要な大きさの燃焼空気取り入れ口と給気口を施工している。	23 ページ
■エアシャッタの調節		
<input type="checkbox"/>	バーナのエアシャッタは地域の電源周波数に合った開度に合わせている。	24 ページ～
■換気扇がある場合		
<input type="checkbox"/>	同時運転することがないように、インターロック回路を設けている	—

- 工事が完了したら、必ずお客様と一緒に試運転をしてください。その際は、別冊の取扱説明書に沿って説明をしてください。
- 特に「安全上のご注意」「使用方法」「日常の点検・お手入れ」はよく説明し、理解していただくようにしてください。

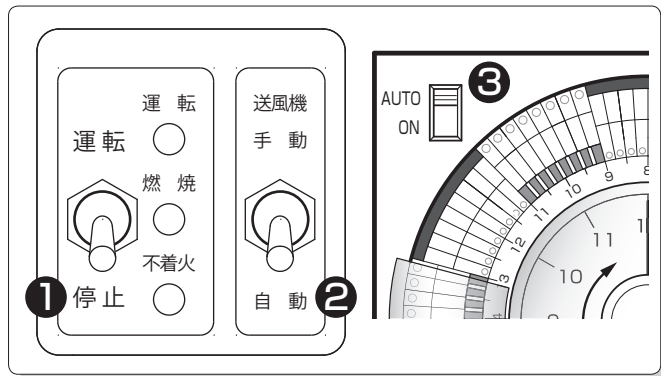
10-1 試運転前の準備と確認

- ① ガス ガスボンベの元栓や配管中のガスバルブを開けてください
- ② ガス漏れの確認 ガス配管や機器からガス漏れがないことを確認してください。
- ③ CO₂吹出口周辺
 の確認 CO₂吹出口をふさいだり、ふさぐようなものがないことを確認してください。
 CO₂吹出し側に機器から1.5m以上空間が設けられているか確認してください。
 改造した吹出ガイドは使用しないでください。
- ④ 燃焼空気取り入れ口と
 給気口の確認 燃焼空気取り入れ口と給気口が正しく設置されているか確認してください。
- ⑤ 送風機周辺の確認 送風機周辺に吸い込みやすいものがないことを確認してください。
- ⑥ 電源 元スイッチを入れてください。
- ⑦ 送風機回転方向の確認 送風機自動・手動切替スイッチを「手動」側に入れて、CO₂吹出口から風が出てくることを確認してください。
- ⑧ 24時間タイマーの確認 周波数設定と設定時間が合っているか確認してください。
 24時間タイマーの周波数切替スイッチは、地域の電源周波数に合わせる必要があります。
 ➡別冊の取扱説明書：20 ページ「24時間タイマーの設定」参照
- ⑨ バーナ送風機の
 エアシャッタの確認 バーナのエアシャッタが電源周波数に合った開度になっているか確認してください。
 ➡24 ページ「8-1 エアシャッタの開度の調節」参照

10-2 試運転

■操作スイッチが以下の状態になっていることを確認してから、試運転を開始してください。

- ① 運転・停止スイッチが「停止」になっている
- ② 送風機自動・手動切替スイッチが「自動」になっている
- ③ 24時間タイマーのマニュアルスイッチがAUTOになっている



送風機の手動運転

操作	状態	表示
送風機自動・手動切替スイッチを「手動」にする	送風機が運転します	ランプは点灯しません
送風機自動・手動切替スイッチを「自動」にする	送風機が停止します	ランプは点灯しません

CO₂ 供給運転

操作	状態	表示
24時間タイマーのマニュアルスイッチを「ON」にする	24時間タイマーの設定に関係なく運転できる状態です	—
運転・停止スイッチを「運転」にする	送風機とバーナ送風機が回り、2～6秒するとバーナの燃焼が始まります	運転ランプ（緑）点灯 燃焼ランプ（橙）点灯
5分以上燃焼して、燃焼状態を確認する	CO ₂ 吹出口から、においや煙がなく燃焼している状態です。	運転ランプ（緑）点灯 燃焼ランプ（橙）点灯
運転・停止スイッチを「停止」にする	バーナの燃焼が停止し、送風機が約3分後に停止します	運転ランプ（緑）消灯 燃焼ランプ（橙）消灯
24時間タイマーのマニュアルスイッチを「AUTO」にする	24時間タイマーの設定時間帯で運転できる状態です	—

※炭酸ガスコントローラ等、外部信号で運転する場合は、その機器の取扱説明書を参照してください。

ネポン株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目4番2号

URL : <http://www.nepon.co.jp/>

環境に配慮した紙を使用しています。

無断転載・不許複製禁止